仙北市とインフォテリア株式会社が協定を締結
桜保全へドローンを活用

角館の桜まつりが開幕した4月20日、仙北市とソフトウエア開発企業のインフォテリア株式会社（東京都）が、桜の保全活動に関する協定を結び、同社から仙北市に桜の保全費用として、5年間にわたり毎年100万円を寄付いただくことになりました。調印式の前には、小型無人機「ドローン」で桧木内川堤のソメイヨシノを撮影するデモンストレーションが行われました。撮影した動画は、市のフェイスブックで紹介しています。今後は、桜の剪定で枝ぶりの確認に活用するなど、同社と共同で多様な実証実験を行っていく予定です。

桜まつり会場で開かれた調印式には、インフォテリア株式会社の平野洋一郎社長、門脇光浩市長、青柳宗五郎議長が出席しました。門脇市長は「協定は外国人の誘客にも効果があり、最先端の技術を活用させていただきたい。寄付は、企業版ふるさと納税としてお受けしたい」と話しました。平野社長は「仙北市の魅力を外へ発信していきたい。寄付金は、桜の剪定や器具の購入などに役立ててもらえたら」と話しました。

桜まつり開幕の日、桜の保全活動に関する協定を結び満面の笑顔。左から門脇光浩市長、平野洋一郎社長、青柳宗五郎議長。

ドローンで撮影した動画を配信し、観光PRに役立てるなど、幅広い分野に活用していきます。

姉妹・連携交流都市の物産展

特産品を求め賑わう

角館の桜まつり期間中の恒例行事となっている仙北市との姉妹都市・連携交流都市（長崎県大村市、茨城県常陸太田市、秋田市）の物産展が4月29日、30日と仙北市役所角館庁舎前の特設テントで開催されました。

毎年多くの買い物客が訪れるこのイベントは、大村市名物のちゃんぽんや皿うどん、常陸太田市の地酒やお菓子など、地元でしか手にすることのできない商品が販売されるとあって、心待ちにしていたお客さんで賑わいをみせました。

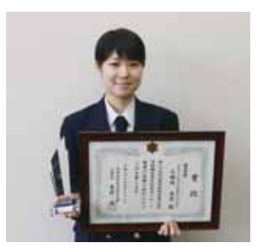
物産展では、姉妹・連携交流都市ならではの特産品が並び、多くの買い物客が購入していました。

消防職員意見発表会で優秀賞

災害に強いまちづくりを

4月22日、宮城県仙台市で行われた第39回全国消防長会東北支部消防職員意見発表会で石郷岡美幸さん（角館消防署）が優秀賞を受賞しました。

石郷岡さんは、出場した7県の代表の中で、トップバッターとして「未来を拓く『わが家の防災マップ』」と題し発表。想像力豊かな子どもたちが作る「わが家の防災マップ」は、身の回りに潜む危険箇所を明確にし、災害に強いまちづくりにつながるという内容です。家族から始まる防災が、地域を守る大きな力となり、学校の防災教育に取り入れていただけたら、との思いが込められています。


石郷岡さんは「練習の成果をしっかりと出すことができてよかったです」と話しました。

仙北市社会教育委員、生涯学習奨励員に委嘱状が交付されました

【社会教育委員】

社会教育委員は、社会教育法に基づく委員で、教育委員会の諮問に応じ社会教育に関する諸計画を立案し、また教育委員会の会議に出席し社会教育に関し意見を述べることができます。また、市の公民館長、市民会館長、図書館長の諮問に応じて各種事業の企画実施について審議、提言をいただきます。

社会教育委員は次の方々です。

（敬称略、新＝新任、再＝再任）

▼委員長　佐藤正美（角館）再
▼委員長職務代理者　羽根川覚（田沢湖）再
▼委員　阿部節子（田沢湖）再
▼委員　大石淳（田沢湖）再
▼委員　鈴木勝一（田沢湖）再
▼委員　土谷啓子（田沢湖）新
▼委員　田村雄幸（角館）再
▼委員　廣川浩子（角館）再
▼委員　藤村榮一（角館）再
▼委員　三浦栄子（角館）再
▼委員　浅利重昭（西木）再
▼委員　阿部陽子（西木）再
▼委員　大澤博公（西木）再
▼委員　門脇トキヨ（西木）再
▼委員　齋藤昭道（西木）再

◎任期　平成28年2月20日～平成30年2月19日

3月18日、社会教育委員に委嘱状が交付されました。

【生涯学習奨励員】

生涯学習奨励員は、県内各市町村に組織され、地域の生涯学習活動を盛んにするため、教育委員会や公民館と連携して、学習に関する相談に応じ、また自身の生涯学習活動を通して活躍しています。

「こんな講座をしてみたい」「講座の講師を探したい」などありましたら、お近くの奨励員の方にご相談ください。

生涯学習奨励員は次の方々です。

（敬称略、新＝新任、再＝再任）

▼会長　渡辺勇悦（角館）再
▼副会長　坂本邦子（田沢湖）再
▼副会長　門脇トキヨ（西木）再
▼委員　大石光子（田沢湖）再
▼委員　髙橋幸雄（田沢湖）新
▼委員　千田ミワ（田沢湖）再
▼委員　千葉薫（田沢湖）再
▼委員　赤川和子（角館）再
▼委員　酒井泉（角館）再
▼委員　館花久子（角館）再
▼委員　新山仁（角館）再
▼委員　阿部栄子（西木）新
▼委員　新山正雄（西木）再
▼委員　橋本敦子（西木）再
▼委員　村上新子（西木）再

◎任期　平成28年2月20日～平成29年3月31日

3月11日、生涯学習奨励員に委嘱状が交付されました。

佐々木兄弟がカヌーでリオ五輪代表に決定

田沢湖の生保内字船場地内で日々練習に励む佐々木将汰選手・翼選手（大仙市協和・万六建設㈱所属）の兄弟がカヌー・スラロームの男子カナディアンペアでリオデジャネイロ五輪への出場を決めました。

2人は4月24日、富山県富山市で開催されたアジア最終予選で中国ペアを破り優勝し、五輪切符を手に入れました。念願のオリンピック出場を決めた佐々木兄弟は「メダルを目指して、五輪出場までの期間、しっかりと練習に励みたい」と意気込みを語りました。

五輪への出場が決まり笑顔を見せる佐々木将汰選手（左）と翼選手（右）。

所属する万六建設㈱の皆さんの応援が大きな支えに。